

# 謹賀新年

二〇一九年 年頭のごあいさつ

## 次世代に繋げるまちづくり

明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

本市は、今年合併から14年目を迎えます。この間、私は市民の皆さまのご支援・ご協力をいただきながら、市政

運営に全力で取り組んでまいりました。おかげさまで、様々な政策課題を解決しつつ、一方で未来に向けて活力あふれる魅力あるまちづくりの着実なる前進が図られているものと感じております。

本市合併時の人口は、4万422人



市長 福島 弘芳

でありました。

現在、3万4千弱と7千人減少となり、人口減少問題は、全国的な問題ですが、本市においても人口減少対策は喫緊の課題であります。

若者をはじめ多くの人々が東京へ流出する中、首都圏から一人でも多く本市への移住を実現させるべく、今年度は、青森県東京事務所にて2名の職員を派出させ、「つがる市東京事務所」の準備を進めてきたところであります。

東京事務所は、「情報収集」と「情報発信」の役割を持つ拠点として整備し、本市への関心度および知名度向上のため、機能を活用してまいります。

特に情報収集については、「企業誘致」に関する業務について、都内に職員を常駐させるといった利点を生かし、各企業への円滑かつ迅速な訪問対応により、有益な情報が得られるものと考えております。

さて、本市の地域経済の要である農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、多くの課題に直面しております。

農業を振興することは、農家所得向上に直結し後継者・新規就農者の増加や雇用の創出へと結びつくものと考えます。

今後とも、農業団体、市議会と連携し農家経営の安定と競争力強化、生産意欲向上は勿論のこと農産物の品質向上や加工を強化し、新たな販路の開拓に努め、今後とも消費者へ浸透させるべく「つがるブランド」に努めてまいります。

新年度の建設事業では、市指定文化財の旧木造中央公民館講堂の移築復元等事業および稲盛芦沼線道路改良事業に加え、総合体育施設建設事業、一般廃棄物最終処分場建設事業ならびに消防・防災拠点となる消防施設整備として、車力地区に（仮称）北消防署、稲垣地区に（仮称）稲垣分遣所を同時進行で建設着手するなど大規模事業が、着工を含め本格的に始動いたします。

教育環境整備対策では、児童生徒等の熱中症対策として、市内すべてにあたる8小学校、5中学校に冷房設備を整備いたします。

また人口減少対策として、引き続き、市内のアパートなど民間賃貸住宅に転入する子育て世帯や若年夫婦への家賃補助、子育て世帯向け民間賃貸住宅の建設費補助や、子どもインフルエンザ予防接種無料、中学生までの医療費やがん検診無料と市独自の支援事業についても、市民が安心して子どもを生み育てられる環境づくりに努めてまいります。

その他、山積する多くの課題についても継続的な課題の解決に取り組むとともに、私たちの住む「つがる市」の豊かな自然や文化・歴史を守り、次世代に繋げるまちづくりに向け邁進いたします。

今後とも市勢発展のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。市民の皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



議長 天坂 昭市

## さらなる議会改革を!!

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月上旬の北陸地方における記録的な大雪をはじめとして、東日本・西日本を襲った記録的な猛暑、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震などが各地に甚大な被害をもたらすなど、自然災害の多い年でもありました。

一方、本市の基幹産業である農業においては、災害による被害や懸念された米の生産調整廃止による米価下落もなく、平年並みの出来秋を迎えること

ができました。

現在、我が国の経済状況は、緩やかな景気回復が続いているといわれているものの、依然として地方経済は厳しい状況にあり、10月には消費税率が見直されるなど、地域の活力低下が懸念される場所もあります。

議会においても少子高齢化や低迷する経済状況の中、議決機関である市議会の果たす役割は大きいと考えており、これまでの議会運営方法に頼ることなく、さまざまな方法を模索し、議会を活性化させ、つがる市が目指す姿「未来に希望を感じる活力あるまち」「思いやりとやさしさにあふれるまち」「郷土

に誇りと愛着を感じるまち」の実現に向けて、さらに市と連携を深めながら最善の努力をしていく所存でございます。

また、議会改革においては、より市民の皆さまへの情報提供に努めるため、インターネットによる議会中継を実施するとともに、議会に関する条例や規則等を最も効力のある法規範として取りまとめ、議会基本条例を制定したところでございます。今後は、随時検証を行うとともに議会運営の効率化に向けたタブレット端末導入による議案等のペーパーレス化にも取り組んでまいります。

さて、私も議員一同も本年2月に改選があり、議員定数が現在の20名から18名に2名減となります。これも議会改革の一環として議員自らが決めたことであり、二元代表制の一翼として議会に課せられる責務はますます重要度を増しております。これまで以上に皆さまの多様な意見を市政に反映させる責務を担うことから、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図ることが求められております。

人口減少と少子高齢化という現実には正面から向かい合い、市民の代表であることの責任と自覚を持ち、市民の皆さまのご期待に応えられるよう全力を尽くす所存でございます。

市民の皆さまには、引き続き市議会活

動に対しご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が市民の皆さま一人ひとりにとりまして、実り多い素晴らしい年になりますことを心よりご祈念申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。

